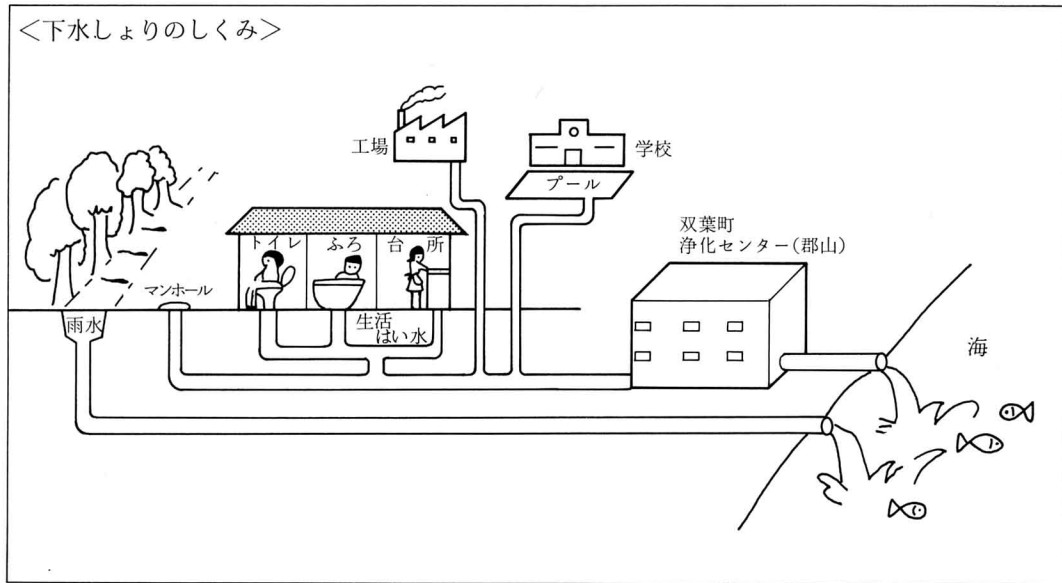


③ <sup>げすい</sup>下水しよりのしくみ

<sup>かてい こうじょう がっこう</sup>家庭や工場、学校などから出たよごれた水<sup>みず</sup>を汚水<sup>おすい</sup>といい、<sup>げすいしよりじょう</sup>下水処理場<sup>あつ</sup>に集められます。



<sup>げすいしよりじょう</sup>下水処理場

<sup>げすいしよりじょう</sup>下水処理場は、よごれた水<sup>みず</sup>をきれいにし、<sup>かわ うみ</sup>川や海にもどすしせつです。しかし、<sup>あぶら ごう</sup>油や合成洗ざい<sup>せいせん</sup>などでよごれた水<sup>みず</sup>はなかなかきれいになりません。できるだけ<sup>なが</sup>流さないくふうが<sup>ひつよう</sup>必要です。

<sup>すいどうか</sup>水道課 <sup>ひと</sup>人の <sup>はなし</sup>話  
《水道課の人の話》



<sup>ふたばまち</sup>双葉町は、<sup>いしくま</sup>石熊ダムだけでなく<sup>なみえまち</sup>浪江町からも水<sup>みず</sup>をひいています。みんなが<sup>あんぜん</sup>安全においしく水<sup>みず</sup>がのめるように毎日<sup>まいにち</sup>がんばっています。水<sup>みず</sup>をむだにしないで、<sup>たいせつ</sup>大切に<sup>つか</sup>使ってほしいというのがわたしたちの<sup>ねが</sup>願いです。